

出生 はじめまして、すこやかに

Table with columns: 赤ちゃん, 性別, 保護者, 地区, 出生日. Lists birth records for various families.

ま ち の 動 き

●人口 53,650人(前月比+62人)
(男) 25,892人(前月比+25人)
(女) 27,758人(前月比+37人)
●世帯数 18,175世帯(前月比+10世帯)
※平成19年1月1日現在

結婚 いつまでもお幸せに

Table with columns: 夫氏名(地区), 妻氏名(地区), 届出日. Lists wedding records.

死亡 お悔やみ申し上げます

Table with columns: 氏名, 年齢, 地区, 死亡日. Lists death records.

Table with columns: 氏名, 年齢, 地区, 死亡日. Continuation of death records.

子育て広場 南あわじ市子育て学習センター
【開設時間】午前9時～午後1時
みどり (☎44-3008) 開設日:月・火・水・金
せいだん (☎37-3028) 開設日:月・火・木・金
みはら (☎42-7703) 開設日:火・水・木・金
なんだん (☎50-3048) 開設日:月・火・水・金

子育てに おんぶを

先日、新聞に元王子動物園飼育技師亀井一成さんの記事が載っていました。「サルやオランウータンにも『おんぶ期』がある。親と同じ目線で物事を見ることができると、大変いい。子育てでも取り入れてほしい。一日一回は、子どもをおんぶや抱っこして愛情を注いであげて」というものでした。



▲猪の紙風船づくり(せいだん)

普及して抱っこしているお母さんを多く見かけるようになりまし。いいことですよ。『スキんシップ』は、とても大事で必要なことです。体温を肌で感じることににより自分は愛されている存在であることを実感し、何よりも心の栄養になっていくと思います。意識して、おんぶ、抱っこをせひ実践してください。夜寝る前に、一日を振り返って「あつ、今日はスキんシップが足らなかつたな」と気がついたら「大好きよ」のギョッと抱っこをしてお父さんの抱っこにおんぶも大きくて暖かくてうれしいですね。(せいだん 川西淳子)

「適応教室」を開設しています

南あわじ市では、なんらかの理由で、学校に通学することが困難になっている小学生や中学生が、学校に籍を置いたまま学ぶ適応教室を四教室設置しています。適応教室の目的は、学習やスポーツ、体験活動、諸行事を行いながら自主性を養い、生きる力を育み、自立への支援を行ない学校へ通えるよう援助することです。本年度の体験活動は、陶芸、折り紙、リサイクル工芸、車椅子バスケット体験などをしました。陶芸体験では、花瓶やイノシシの置物、お皿などを作りました。できあがった作品は、一つ一つ個性が表れていて、達成感も伝わってきました。こつこつと一つの物を作り上げ、集中力を養い、心を落ち着かせる体験でした。また、車椅子バスケット体験では、淡路島出身で車椅子バスケットチームに所属している方と交流しました。始めは恐る恐る車椅子に乗っていましたが、慣れてくると生き生きとした顔で走り回っていました。交通事故のため両足を切断し泣きっぱなしの生活から復活し、車椅子バスケットに生き甲斐をみつけ、北京パラリンピックへの夢を持って真剣に生きている選手の話聞き、自分たちも元気で前向きに歩んでいこうという気持ちになれました。適応教室は、不登校の本人や保護者の心の負担を軽減し、子どもへの適切な対応を探るための相談を実施していただきます。また、電話相談にも応じています。



▲適応教室での体験活動(調理実習、餃子づくり)

「地域のおつやん・おぼたん運動」にご参加を

子どもたちをめぐめる問題が深刻になるなかで、「地域の子どもは地域で守る」という意識をもって、子どもたちを温かく見守り、支援する大人がもとめられています。日常のあいさつなどの声かけ、見守りなど無理のない範囲で、できることから実践する「地域のおじさん・おばさん運動」を自治会等の各種団体、グループでの加入を願っています。青少年育成センター ☎37・3026

青少年なんでも相談室

▽日時 平日午後1時～5時
▽場所 西淡公民館・青少年育成センター内
☎37・3026
☎37・3048
▽相談内容 非行、いじめ、不登校、友人関係、家庭教育、子育て、ほか青少年に関するすべてのこと
▽対象 様々な悩みを抱えている青少年や保護者。秘密は厳守します